



問

原子力災害から村民を守る手立てが必要
発電所の防潮堤工事の見通しは立っていない

光風会 江田 五六 議員

議員 実効性のある広域避難計画と、防潮堤の実現は最重要課題である。

村民生活部長 広域避難計画の基本的な考え方としては、放射性物質の放出前に迅速に避難をすることである。自家用車による避難を基本とするが、運転が困難な方や避難行動要支援者については、村や県が手配するバスや福祉車両、自衛隊車両などにより、安全に避難できるよう努める。

議員 ①茨城県の広域避難計画では、取手市を中心とした県南に避難するとある。しかし、放射性物質が飛んでいく確率の高い県南だけでは危険である。村独自の計画として風向きによっては久慈川流域の9つの市町村との連携による避難計画も必

要である。②審査に関わらず、防潮堤は必要である。村から国へ働きかける必要がある。



浜岡原発の防潮堤

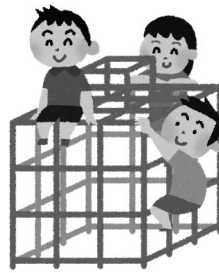
問 健康寿命を伸ばす手立てが必要

答 最も重要なテーマである

議員 高齢者の健康度は市町村でかなりの差がある。習慣的に歩く機会を増やすための環境整備は重要である。身近な地域で歩く機会を増やすための手法について、各地域から協

力の要請があったときには、村としてどのように取り組むのか考えを伺う。

福祉部長 地域の皆様と関係機関や行政が連携して、できる限り地域の思いに沿うようにする。併せて「協働による健康なまちづくり」の実現に向けて支援する。



問 新しい特産農産物が必要
答 協議の場を設け検討する

議員 東海村農業振興計画に「特産物の開発」とあり、「ほしいもの他に新しい特産品開発は不可欠」と記されている。その取り組みについて伺う。

建設農政部長 まずは、ほしいものについて、更なる産地体制の強化を図り、新たな特産品については、協議の場を設けて検討していきたい。

問 地域の公園の整備が必要
答 協働の精神のもと行う

議員 高齢化社会を見据えて、身近にある自然と関わり合える、地域のコミュニティ活動の場が必要。福祉・子育ての観点から『地域にある地域のための、地域の住民に拠る、地域の公園』の整備を進めるべき。

建設農政部長 自治基本条例のもと、地域の皆さんの活動を支援していきたいと考えている。

